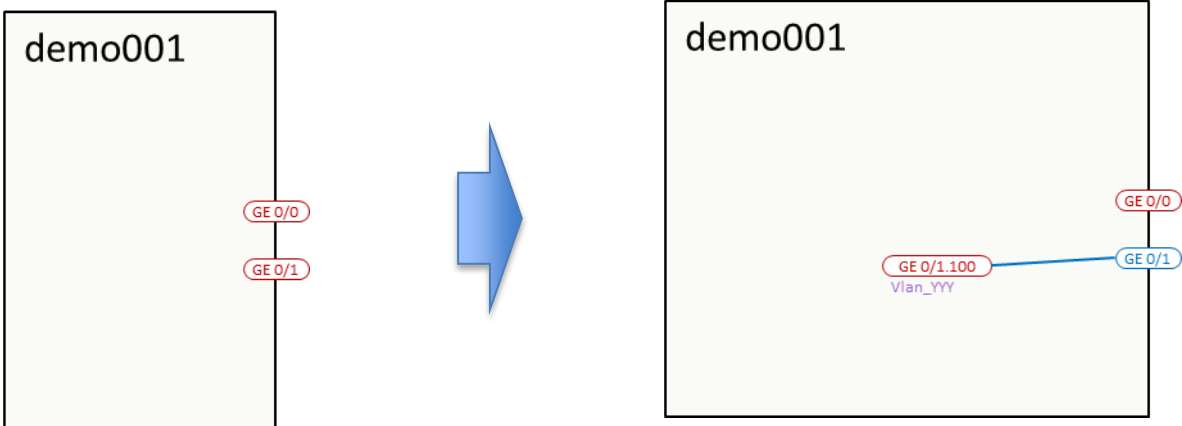


# 本手順でできること

デバイスファイルの[L2 Table]シートを更新しサブインタフェース設定を作成します。

L2構成図



XX x/x

...

L2モードのインタフェース

XX x/x

...

L3モードのインタフェース

XXXX

...

L2セグメント

# ①機器ポート管理表の生成

「[2-4. デバイスファイルのエクスポート\(解説付き\)](#)」を参考にデバイスファイルのエクスポートします。

## ② [L2 Table]シートの更新 サブインタフェース

デバイスファイル [L2 Table]シートのサブインタフェースを構成したい物理インタフェースの行をコピーして挿入します。コピーした行の「Virtual Port Name」にサブインタフェース名、「L2 Name directly received by L3 Virtual Port」に接続するL2セグメント名を入力してください。

- L2セグメント名に空白(スペース)は使用できません。
- 「L2 Name directly received by L3 Virtual Port」はカンマ区切りで複数のL2セグメント登録が可能です。

①物理インタフェースの  
行をコピーして追加

②サブインタフェース名  
を入力

②接続するL2セグメント  
名を入力

Device Name	Port Mode	Port Name	Virtual Port Mode	Virtual Port Name	Connected L2 Segment Name	L2 Name directly received by L3 Virtual Port
demo001	Routed (L3)	GigabitEthernet 0/0				
	Routed (L3)	GigabitEthernet 0/1				
	Switch (L2)	GigabitEthernet 0/1	Routed (L3)	GigabitEthernet 0/1.100		Vlan_YYY

Paste Special... >

Insert Copied Cells

Delete

※変更箇所を赤字で記載していますが、色は関係ありません。

「Virtual Port Name」の命名規則は物理インタフェースと同じく以下となります。

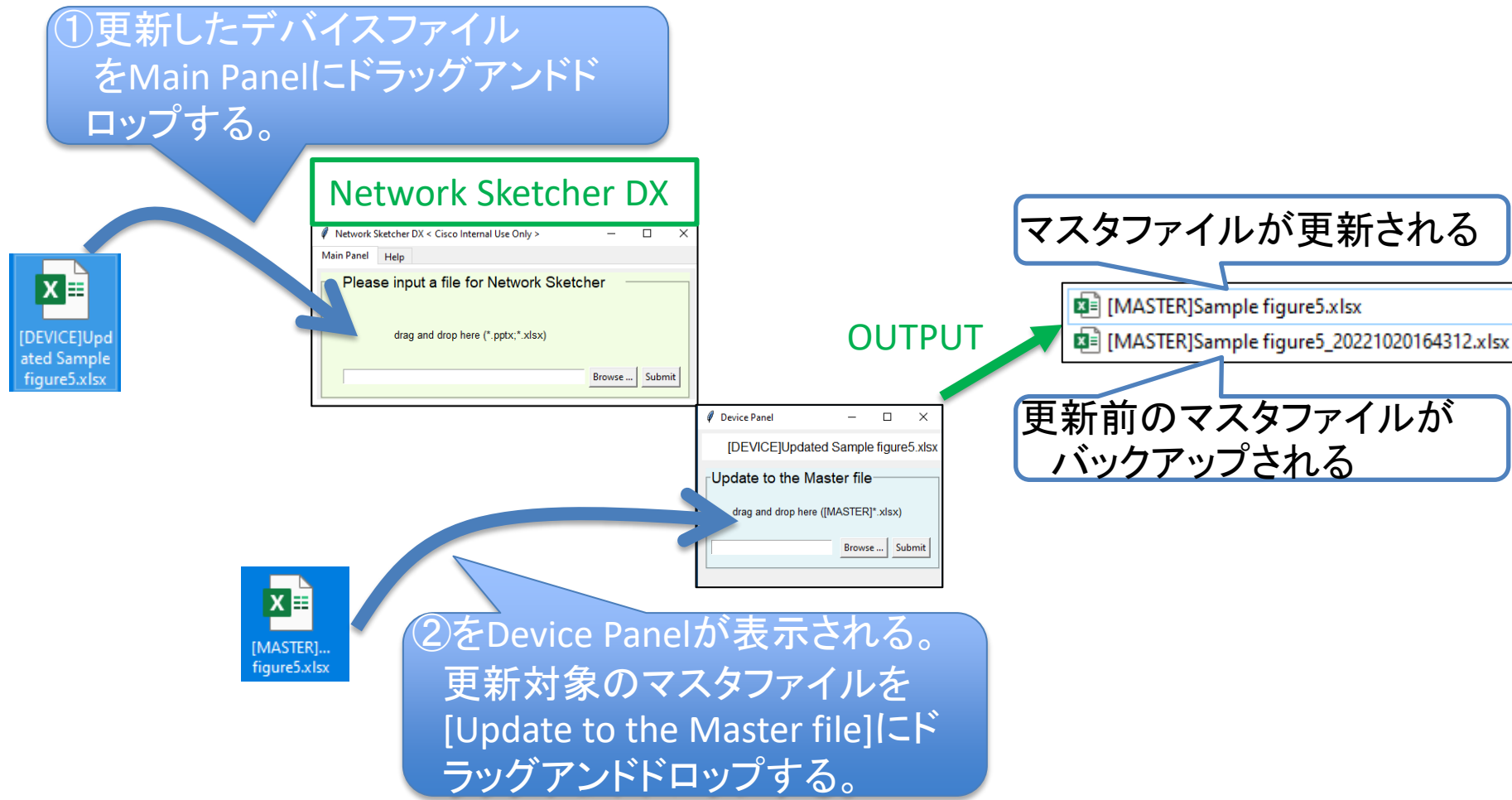
ポート種別名とポート番号の間に半角スペースを入れてください

[ポート種別名] + [半角スペース] + [ポート番号]

Portchannel 0/4.100

# ③更新情報の同期1

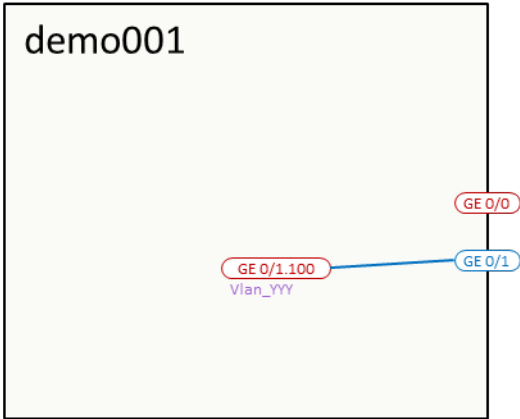
更新したデバイスファイルと、同期先のマスタデータファイルをそれぞれ選択し、同期させます。マスタデータが更新されるため、元のマスタデータはファイル名に”\_yyyymmddhhss”を付けてバックアップされます。



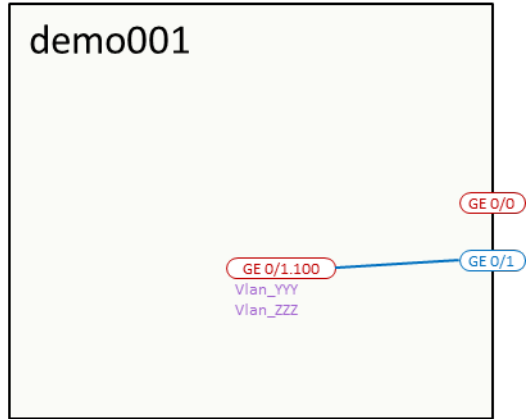
# ④L2構成図の確認

「[2-2. L2構成図の生成\(凡例付き\)](#)」を参考に、L2構成図を生成して変更内容が反映されていることを確認ください。

L2構成図: 生成例



(複数のL2セグメントを登録した場合の表示例)



XX x/x

...

L2モードのインタフェース

XX x/x

...

L3モードのインタフェース

XXXX

...

L2セグメント

# [参考資料]デバイスファイル [L2 Table]シートの解説

デバイスファイル名[DEVICE]~の[L2 Table]シートの説明。目的のレイヤ2構成方法については、<L2/L3構成>セクションを参照ください。

Area(拠点)名

機器名

物理ポートのモード

物理ポート名

仮想ポートのモード

仮想ポート名

接続するL2セグメント名

サブインタフェースが接続するL2セグメント名  
(L3仮想ポートがL2モードの物理ポートと直接接続する場合のみに使用されます)

Area	Device Name	Port Mode	Port Name	Virtual Port Mode	Virtual Port Name	Connected L2 Segment Name	L2 Name directly received by L3 Virtual Port
DC-TOP1	FW-12~1~			Routed (L3)	Vlan 1	DefaultVlan	
				Routed (L3)	Vlan 1300	vlan1300	
				Routed (L3)	Vlan 1400	vlan1400	
				Routed (L3)	Vlan 1401	vlan1401	
				Routed (L3)	Vlan 1500	vlan1500	
				Routed (L3)	Vlan 1501	vlan1501	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/1	Switch (L2)	Portchannel 0	DefaultVlan	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/2	Switch (L2)	Portchannel 1	Vlan200	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/5	Switch (L2)	Portchannel 1	Vlan200	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/6	Switch (L2)	Portchannel 0	DefaultVlan	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/12			vlan1300,vlan1400	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/13	Routed (L3)	GigabitEthernet 0/13.99		

L1 Table

L2 Table

L3 Table